

作成日 2019/06/26

改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	嘔吐物凝固剤
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M190906

2. 危険有害性の要約 GHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分3 水生環境有害性(長期間) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H330 吸入すると生命に危険
H350 発がんのおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、
腎臓、免疫系の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
呼吸用保護具を着用すること。(P284)
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)

応急措置

保管

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
吸水性ポリマー		不明	不明	不明	非公開
天然濾過鉱石		不明	不明	不明	非公開
pH 調整剤		不明	不明	不明	非公開
EPA 登録殺菌剤#6635-266		不明	不明	不明	非公開

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに、換気の良い新鮮な空気のある場所へ移動し、水でうがいをする。

眼に入った場合

直ちに流水で15分以上洗い、完全に洗い流す。

皮膚に付着した場合

直ちに流水で15分以上洗い、完全に洗い流す。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、牛乳又は水を飲ませる。無理に吐き出させない。被災者意識がない場合などは何も飲まない。

5. 火災時の措置

消火方法

不燃性物質であるが、周辺火災の際は安全な場所へ移動する。移動が出来ない場合は容器周辺に散水して冷却し、容器の破損を防ぐ。

消火剤

水、炭酸ガス、ドライケミカル。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出物は、掃き集めたり、真空掃除機で吸い取るなどして、密封できる空容器に回収する。

環境に対する注意事項

河川などに排出されないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

換気のよい場所で取り扱う。
粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
飲み込んだり、吸引したり、眼、皮膚に触れないようにするとともに、取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどの適切な保護具を着用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

特になし。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態
形状
色

固体
粉末
白～黄灰色
データなし
データなし

臭い

臭いのしきい(閾)値

データなし
データなし

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限 上限	データなし データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配 係数		水に接触するとゲルを形成する。 データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の保管状態では安定。
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		高温多湿。
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が6713.7477613mg/kgのため区分外に該当。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 急性毒性推定値が42804.9816719mg/kgのため区分外に該当。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		急性毒性推定値が0.053mg/lのため区分2に該当。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (呼吸器感作性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 (皮膚感作性)

生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。 ※区分1は0.119%含まれる。 データ不足のため分類できない。 区分1Aの成分が7%のため、区分1Aに該当。 (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が7%のため、区分2(呼吸器)に該当。 区分1(腎臓)の成分が7%のため、区分2(腎臓)に該当。 区分1(免疫系)の成分が7%のため、区分2(免疫系)に該当。
吸引性呼吸器有害性		動粘性率が不明のため、分類できないに該当。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が209%のため、区分3に該当。
水生環境有害性(長期間)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が209%のため、区分3に該当。
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		焼却炉で少量ずつ焼却処理するか、もしくは都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当 なし
15. 適用法令		
化審法		優先評価化学物質(法第2条第5項)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

海洋汚染防止法

結晶質シリカ(政令番号:165の2)(1%-10%)

有害でない物質(施行令別表第1の2)

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム

「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。